

| | | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 解 答 | 1 (C) | 2 (A) | 3 (C) | 4 (D) | 5 (B) | 6 (B) |
| | 7 (B) | 8 (A) | 9 (B) | 10 (B) | 11 (D) | 12 (A) |
| | 13 (A) | 14 (B) | 15 (B) | 16 (C) | 17 (D) | 18 (C) |
| | 19 (A) | 20 (B) | | | | |

1. 「多くの人々が政府の政策が環境に及ぼす影響を恐れている」

- 選択肢には前置詞が並んでいます。前置詞パターンの問題では、まず空欄前後に特定の前置詞との組み合わせで使われる語がないかをチェックしましょう。
 - 本問では空欄前の形容詞fearfulの語法に気づけるかがポイントです。be fearful of Aで「Aを恐れる」という意味なので、(C)ofが正解になります。
- be fearful of A [doing]** 「A(物・事)を[～するのではないかと]恐れている」

The police *are fearful of being attacked by aggressive residents.*

(警察は攻撃的な地域住民から襲われるのではないかと恐れている)

2. 「ハーバート、そのビニール袋を取ってくれませんか？」

- 選択肢は「前置詞 + me」の形ですが、本問は空欄前の動詞handの語法に関する問題です。このhandはSVO₁O₂の文型をとるgive型の他動詞で、「O₁(人)にO₂(物)を手渡す」という意味を表しますから、前置詞は不要です。よって、正解は(A)meになります。

hand A B 「A(人)にB(物)を手渡す」 (=hand B to A)

I handed him my business card across the table.

(私はテーブル越しに彼に名刺を渡した)

3. 「パーティー用にプラスチックのコップを買ったので、子供が落としても割れません」

- 選択肢には前置詞[(B)despite]、接続詞[(A)though/(C)even if/(D)yet]、副詞[(D)yet]が並んでいますが、空欄の語はあとに続く節(the children drop them)をつなぐ働きをしているので、接続詞が入ると推測できます。
- thoughとeven ifは共に譲歩の意味を表しますが、文意から「たとえ～でも」という「仮定+譲歩」の意味をもつ(C)even ifが正解になります。

even if ~「たとえ～でも」

I'd like to get it even if it costs me lots of money.

(たとえ大金がかかっても、それを手に入れたい)

4. 「この黒い靴はいかがですか？サイズは25センチから29センチまでそろっています」

- 選択肢に前置詞が並ぶパターンです。第1問では形容詞fearfulの語法から前置詞を決定しましたが、本問の動詞rangeは「(年齢・範囲などが)及んでいる、またがる」という意味の自動詞で、選択肢中の前置詞と結びつくイディオムを作りません。このような場合は、それぞれの前置詞のもつ意味から文脈に合う意味をもつものを選ぶ方針で解きましょう。
- 本問では範囲・分野を表す用法をもつ(D)inが正解になります。

■範囲・分野を表すin

[例] The country is rich **in oil.** (その国は石油が豊富だ)

I am interested **in Chinese history now.** (私は今、中国史に关心がある)

a difference **in age** (年齢の違い)

5. 「金融市場が世界中でつながっていることを考慮すると、一つ一つの国が注意深く経済政策を考えることが大切だ」

- 選択肢には動詞giveの変化した形が並んでいます。本問では空欄のあとにthatで導かれる名詞節が問題を解くカギになります。
 - Given that ~で「～ということを考慮に入れる」という意味を表す接続詞の働きをしますので、(B)Givenが正解になります。
- Given (that) ~「～を考慮に入れる」** (=considering)

▶ givenは前置詞または接続詞の働きをします。

Given the fact that I was tired, I managed to play the piano pretty well.

(疲れていたという事実を考慮すれば、私はなんとか上手にピアノを弾いた)

6. 「経営者が新しい販売員を雇ったので、その職は今や埋まっている」

- ▶ 選択肢が2つの時制[現在(完了)/過去]と2つの態[受動態/能動態]の組み合わせで構成されていますので、時制と態を決定するための要素を探していきます。
- ▶ 他動詞hireは「(人)を雇う/~を賃借りする」という意味です。空欄内が受動態であるとしたら、a new salespersonが補語になり、この場合the manager=a new sales personとなって不合理です。そもそも、このような表現をする場合は前置詞asを補って...is hired **as** a new salespersonとなります。よって、空欄の態は能動態に決まります。
- ▶ 能動態である(B)(C)のうち現在形である(C)hiresを選ぶと、経営者が販売員を雇うという反復動作を表しますので、so以下の内容と合いません。現在完了形である(B)has hiredを選べば、「ある販売員を採用したところだ」という完了の意味を表し、後半の文意とも整合します。

7. 「テレビ番組のコマーシャルの時間の間に、ジルはキッチンからもう一杯グラスに入ったジュースを取りに行った」

- ▶ 選択肢には前置詞と接続詞が並んでいます。空欄の語はあとに続く名詞句、a commercial break in the TV programを後続の節(Jill got herself...)につなぐ働きをしているので、前置詞が入ると推測できます。
- ▶ 前置詞の用法をもつ3つの選択肢の中から文意に相応しいものを選ぶと、「特定期間の間」を表す(B)Duringが最適です。

get A B 「A(人)にB(物)を手に入れてやる」

My dad gets me all the books I want.

(パパは僕の欲しい本は全部買ってくれるよ)

8. 「ロバートの新しい車は素晴らしい音楽システムとサンルーフが装備されている」

- ▶ 選択肢がすべて前置詞であるパターンです。本問のポイントは動詞equipの語法で用いられる前置詞です。
- ▶ A is equipped with Bで「AはBを備えている」という考え方をしている方もいるかもしれません、これはequip A **with** B「AにBを備え付ける」を受動態にした形です。このことから正解は(C)withになります。

equip A with B 「AにB(機器・装置・備品など)を備え付ける」

The soldiers were equipped with weapons.

(兵士は武器を身につけていた)

9. 「最終レポートの提出期限はいつだろうか」

- ▶ 選択肢には「be+due」の変化したものが並んでいます。形容詞dueは受験英語で頻出の多義語で、本問では「提出期限が来た」という意味です。本問は問題文中の語句を手がかりにして、正しい述語動詞の形を選ぶ問題です。
- ▶ 選択肢のうち(C)be dueは助動詞などのあとに続く形、(D)dueはbe動詞がないので不適です。問題文の意味は「最終レポートの期限はいつだろうか?」という意味なので現在形である(B)is dueが正解になります。

■ 多義語due

① [前置詞的に] **due to** ~「~のために/~が原因で」

[例] Due to the rain, the match was canceled. (雨のために試合は中止された)

② 「(支払い・提出・返却などの)期日が来て/期限になって」

③ **be due to do** 「~することになっている」 [予定]

④ 「(子供が)生まれる予定で」

⑤ 「(人・乗り物が)到着予定で」

[例] The train is due in London at 5:30. (列車は5時30分にロンドン到着の予定だ)

10. 「マットがその文書を保存している最中に、コンピューターが故障して動かなくなった」
- ▶ 選択肢には動詞saveの時制と態を変化させたものが並んでいます。まずは文法的に不能なものを除外して、時制と態を決定しましょう。
 - ▶ 主語であるMattのあとにbeen savingという形で続けることができないので、(D)been savingは不可です。選択肢(A)(B)(C)は文法的に入れることは可能ですが、接続詞while(～している間に)の意味から、進行形をとるのが最適であるので(B)was savingが正解になります。
11. 「私は私たちの先生であるティラー先生が本当に好きです。先生は授業で私たちを心から励ましてくれます」
- ▶ 選択肢は異なる意味をもつ名詞で構成されています。問題文中に特定の名詞と結びつく語句がなければ、文意から最適なものを選ぶ方針で解きます。
 - ▶ 選択肢の意味は、(A)respect「尊敬、敬意」、(B)consideration「考慮、思いやり」、(C)benefit「利益」、(D)encouragement「激励」です。空欄を含む文は、『私』がティラー先生に好感を持っている理由が書いてあるので、(D)encouragementが最適です。
12. 「食事は外で食べたいですか、それとも家で食べたいですか？」
- ▶ 選択肢は副詞である(A)ratherを除いて、すべて動詞です。空欄のあとには動詞eatが続いているので、動詞である(B)prefer、(C)like、(D)wishを入れることはできません。(A)ratherを選べば、would rather do(むしろ～したい)という表現の疑問形となるのでこれが正解になります。
 - **would rather do** 「むしろ～したい」
I would rather stay in London much longer than a week.
(私はむしろ1週間よりずっと長くロンドンに滞在したい)
 - ▶ 否定する場合は**would rather not do** 「むしろ～したくない」の形になります。
I would rather not have the operation unless it is absolutely necessary.
(本当に必要でなければ私は手術を受けたくありません)
13. 「ピーターは今度の授業で、アメリカとイギリスの現代文学の違いについて発表を行わなければならない」
- ▶ 選択肢は異なる意味をもつ他動詞が並んでいます。空欄に続く動詞の目的語his presentation(彼の発表)にふさわしい動詞を選ぶ方針で解きましょう。
 - ▶ 「プレゼンテーションを行う」という表現はgive[make, **deliver**] a presentationで表されます。deliverは「～を配達する」という意味も重要ですが本問の表現も覚えておきましょう。残りの選択肢は(B)convey「～を運ぶ」、(C)communicate「～を伝達する」、(D)say「～を述べる」という意味です。
 - **give[make, deliver] a presentation** 「プレゼンテーション(発表)を行う」
14. 「新入社員は、効率的に仕事をしたければ会社の習慣に順応できることが大切だ」
- ▶ 直後に「to+名詞」の形がきているので、空欄には自動詞が入ると推測できます。そこで、まずは他動詞である(C)acquaint(～に熟知させる)と(D)familiarize(～を慣れさせる)を除外しましょう。
 - ▶ change to A「Aに変化する」、adapt to A「Aに順応する」という意味ですから、文意に相応しいのは(B)adaptになります。
 - **adapt to A** 「A(環境など)に順応[適応]する」 (=adjust to A)
Children adapt quickly to new surroundings.
(子供たちは新しい環境にすぐに順応する)
15. 「この1週間コンピューターの動作が遅いので、ロナルドはコンピューターがウイルスに侵されているのではないかと心配している」
- ▶ 選択肢には「前の/最近の」という意味をもつ形容詞が並んでいます。いずれも文法的には正しい使い方なので、文意に最も相応しいものを選びましょう。
 - ▶ 選択肢中の形容詞は、(A)former「(時間的に)前の」、(B)past「過ぎたばかりの」、

(C)latest「最新の」、(D)recent「近頃の」という意味です。「ここ1週間」という場合はthe **past**[last] weekと表現しますので、(B)this pastが正解になります。

16. 「これらのキャンプ用具はあまり場所を占めないので、車は1台で十分だと思うよ」

- ▶ 選択肢はすべて基本動詞takeを含む句動詞です。句動詞パターンの問題では、基本的に、文意に合ったものを選ぶだけです。
- ▶ 訳を当てはめると、「これらのキャンプ用具はあまり場所を [(A)take over「引き継が」(B)take in「だまき」(C)take up「占め」(D)take on「引き受け」]ないので、車は1台で十分だと思うよ」となり、(C)take upが正解となります。

□ **take up** ~ 「(時間・場所など)を占める/(趣味・仕事として)～を始める」

I'm sorry I've *taken up* so much of your time.

(お時間をすっかり取ってしまってごめんなさい)

17. 「その地域の住民は学校の隣の高層ビルの建築に反対して行動を起こそうと決めた」

- ▶ 選択肢にはさまざまな意味をもつ基本動詞が並んでいます。本問は空欄あとの名詞actionとのコロケーション(慣習的な単語の組み合わせ)で文意に合ったものを選びます。
- ▶ take actionで「行動を起こす」という意味になりますので、これが最適でしょう。

□ **take action** 「行動を起こす」

I hope that he will be kind enough to *take some action* for me.

(彼が私のために何らかの措置を取ってくれることを願っている)

18. 「天気予報では今日は晴れだとっていたが、雨が降る場合に備えて傘を持って行こう」

- ▶ it rainsという節があとに続いているので、空欄には接続詞が入ると推測できます。まず、(A)maybeは副詞なので除外します。(B)whenは接続詞、(D)は「if(接続詞)+perhaps(副詞)」で「ひょっとして～するなら」という節を導く接続詞です。(C)in caseは要注意です。これは前置詞句ではなく、「～の場合に備えて」という意味の接続詞(句)です。本問は、文法的に正しい選択肢(B)(C)(D)から文意に合う(C)in caseが正解になります。

□ **(just) in case S+V** 「～するといけないから/～の場合に備えて」

I think you had better carry an umbrella *in case* it rains.

(雨が降るといけないから、傘を持っていったほうがよい)

cf. **in case of A** は前置詞(句)で「～の場合は/～に備えて」という意味です。

In case of earthquake, turn off the gas at main.

(地震の際はガスの元栓を閉めてください)

19. 「名古屋からサンフランシスコまでの直行便はないので、ロサンゼルスを経由しなければならない」

- ▶ 選択肢がすべて前置詞のパターンです。空欄直前のgoに関する句動詞パターンという考え方もできますが、文意が明確なので前置詞のもつ意味から最適なものを選べば良いでしょう。(A)through(～を通過して)が正解になります。

[例] Buddhism reached Japan *through* Korea.

(仏教は朝鮮を経由して日本へ伝わった)

20. 「この図書館は地域の利益のために、任意の寄付によって建てられました」

- ▶ 選択肢には異なる意味の名詞が並んでいます。contribution(寄付)という単語の意味が分かれれば、文意から正解(B)benefit(利益)を選ぶことができるでしょう。

□ **for the benefit[good] of A** 「Aの利益のために」 (=for the sake of A)

The school hall is *for the benefit of* the students.

(学生会館は学生のためにある)